

校 長 の 話

校長 上村 哲也

今日から、人権集中学習が始まります。

ニュースなどで「人権」という言葉をよく耳にします。第一小学校でも、毎年「人権集中学習」を行っていますので、人権の意味は知っていると思いますが、改めて確認したいと思います。

人権とは、「誰もがもっている、自由に幸せに生きることができる権利」です。「生きていたい」「自由にいたい」「幸福でいたい」という、すべての人に共通する3つの願いを支えるものです。

では、人権を守るためにはどうすればよいのでしょうか。一つは「自分を大切にすること」、そしてもう一つは「ほかの人も大切にすること」です。

まず、「自分を大切にすること」について考えてみましょう。それには、「何かに頑張っていて取り組んでいる自分を見つけること」、そして、「誰にでも欠点はあるけれど、あるがままの自分を受け入れ、自分を好きになること」が大切です。

次に、「ほかの人も大切にすること」について考えてみます。こちらは、なかなか難しいでしょう。ほかの人といってもいろいろな人がいますし、ものの考え方もみんな違います。男と女だってあるし、日本の人もいれば外国の人もいます。健康な人もいれば病気にかかっている人もいます。とにかく、自分とほかの人には多くの「違い」があります。

人権集中学習は、そのような「違い」に目を向け、「ほかの人も大切にすること」を考える学習です。

さて、ここから少しみなさんに考えてもらいます。画面にはワークシートの一部が映っています。この場面を確かめてみましょう。多くの人たちが駅に向かって歩いていますが、道路が通れなくなったために、警備の人が、歩いている人たちにお知らせをしています。

「お知らせ」

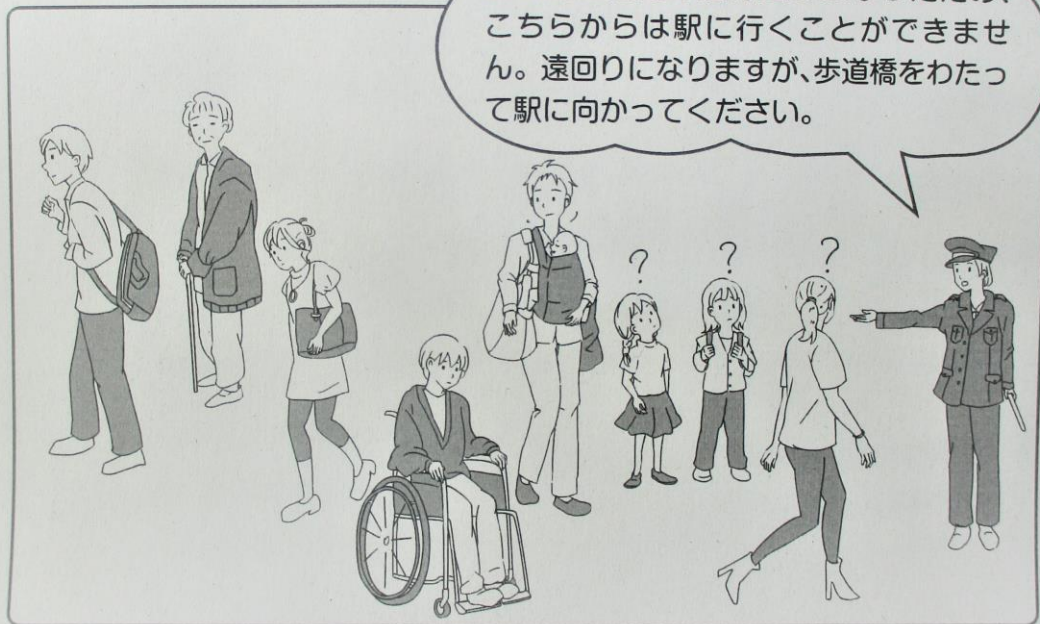
「この先の道路は通行止めになったため、こちらからは駅に行くことができません。遠回りになりますが、歩道橋を渡って駅に向かってください。」

ここで、問題です。イラストの中で、駅まで移動するのに困っている人は誰でしょうか。それはどのような人なのか、どんなことで困っているのかを各学級で考えてみましょう。



こまっている人はいないかな？

道路が通れなくなったため、歩いている人たちに向けて、お知らせをしています。



(神奈川県教育委員会作成)

<話合いの後に>

どのような話し合いになったでしょうか。

この場面では、お年寄りや、乳児を抱えた人、車椅子に乗っている人など、歩道が混んでいたり段差があったりする場所では移動が難しい人がいることが分かったと思います。

また、自分たちが当然のように聞き、理解している日本語が、外国の人や耳の聞こえ方に障害のある人など、受け取る人によって正しく伝わらない場合があることに気づいたでしょうか。

私たちの身の回りにはいろいろな人が暮らしています。もちろん、今、近くに座っている友だちもその一人です。事故や災害などに限らず普段の暮らしの中でも、お互いに相手の様子や気持ちを分かろうとし、優しい心配りや協力などを行うことが大切です。

これで、校長の話は終わりです。今日からの人権集中学習、しっかり学び、自分の考えを深めてほしいと思います。